

東日新聞
TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社 <https://www.tonichi.net>
〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

- 地域を笑顔に
- ② 奥三河蒸留所定期セミナー開催
 - ⑦ あすから8日までかご展2019
 - ③ 豊橋市窓口、利便性向上へ
 - ⑩ 砥鹿神社で市民向けセミナー
 - ⑥ おいちゃんおばあちゃんの似顔絵展
 - ⑪ 国際白コン研究会Ma&S学ぶ

大切なあなたを守るということ

<http://yutaka-sg.jp/tomonokai/>
交通安全友の会 ユタカサービスグループ

防災と障害福祉へ理解深める

災害時に使う言葉を手話で体験など

さくらピアの親子防災教室好評

防災頭巾やペットボトルでランタン。南海トラフ地震に備え、豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」(東新町)がイベントとして開いている、「親子防災教室」が好評を得ている。4年目を迎え、災害時に役立つ物を障害者と一緒に作り、スポーツを楽しむことで、参加者の防災意識とともに障害者への理解が高まっている。主催者側はこうした取り組みを広げるため、市や各種団体に働きかけている。

さらなる取り組みの場拡大訴え

防災頭巾について、子どもたちが慣れない手つきで針を持ち、障害者は保護者に手伝ってもらい、座布団2枚を縫い合わせて防災スリッパや座布団も作った。ランタンづくりは、昨年の台風で長く停電した教訓がきっかけ。空のペットボトルとLEDライトを使って完成させた。「家に帰って、家族分の頭巾を作った」「ランタンは簡単に作れ役立つと思っ」などと参加者の評判は上々だ。また「水」「電気」

「ガス」などの災害時に使う言葉を手話で体験し、目隠しをして館内を歩き、視覚障害を体験した。アイマスクをして音の鳴るピンポン玉を打ち合う「サウンドテーパーテニス」やパラリンピックの競技として注目される「ボッチャ」にも挑戦した。

「手話を面白く学ぶことができた」「目の見えないことの大変さが経験でき、良かった」と参加者は感想を述べた。

防災教室は、親子で防災と障害福祉を学ぶのが狙い。災害、聴覚、視覚のボラン

ティアグループや豊橋障害者(児)団体連絡協議会(豊障連)主催の講座で活動するサークルの代表らを講師に招き、2016年夏からこれまで4回開かれた。市内の小、中学生と保護者ら計153人が参加した。うち身体・知的障害者は25人だった。

市障害者福祉会館の本田栄子事務長は「防災の時だけ障害者を親切にするのではなく、健常者の日空のペットボトルを利用してランタンを作る親子(さくらピア)で」提供



「さくらピア」の親子防災教室。参加者は防災用品の作り方や手話の勉強などを行った。この取り組みについて「学校や子供会、町内会などで行ってほしい」と訴えている。

広がる。真の障害福祉の理解につながるという、市などに呼びかけている。豊障連は、市から市障害者福祉会館の指定管理者に指定され、2009年から管理運営する。障害者やその家族の相談のほか、スポーツや文化教室を開いている。